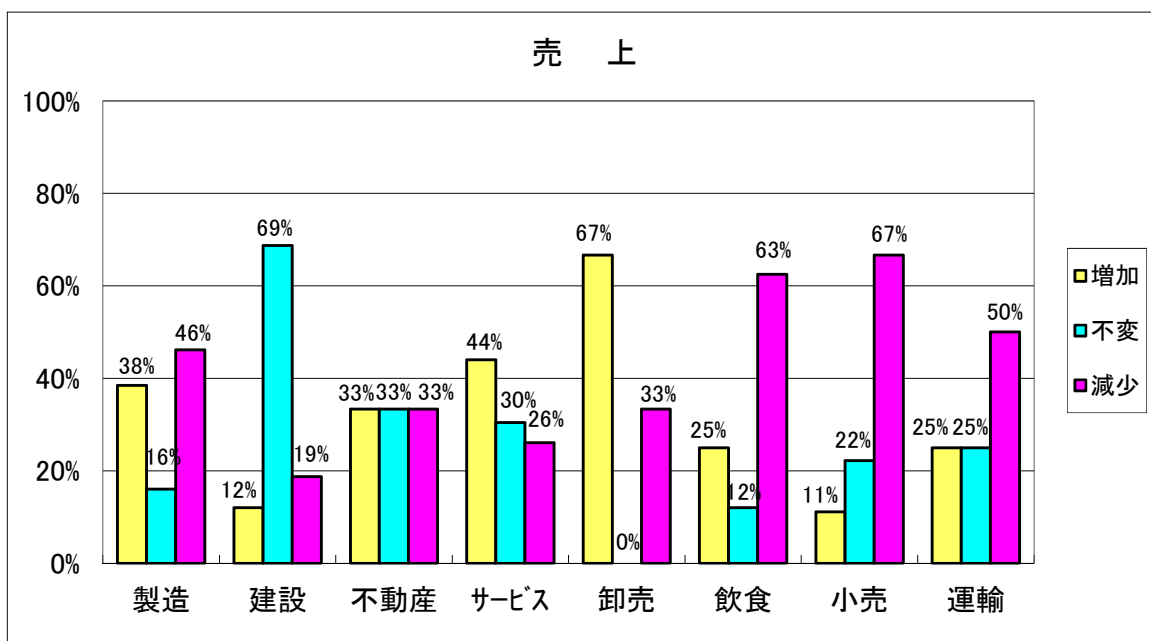


調査1 平成28年7月～12月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成29年上期の見通しについて比較表示してある。

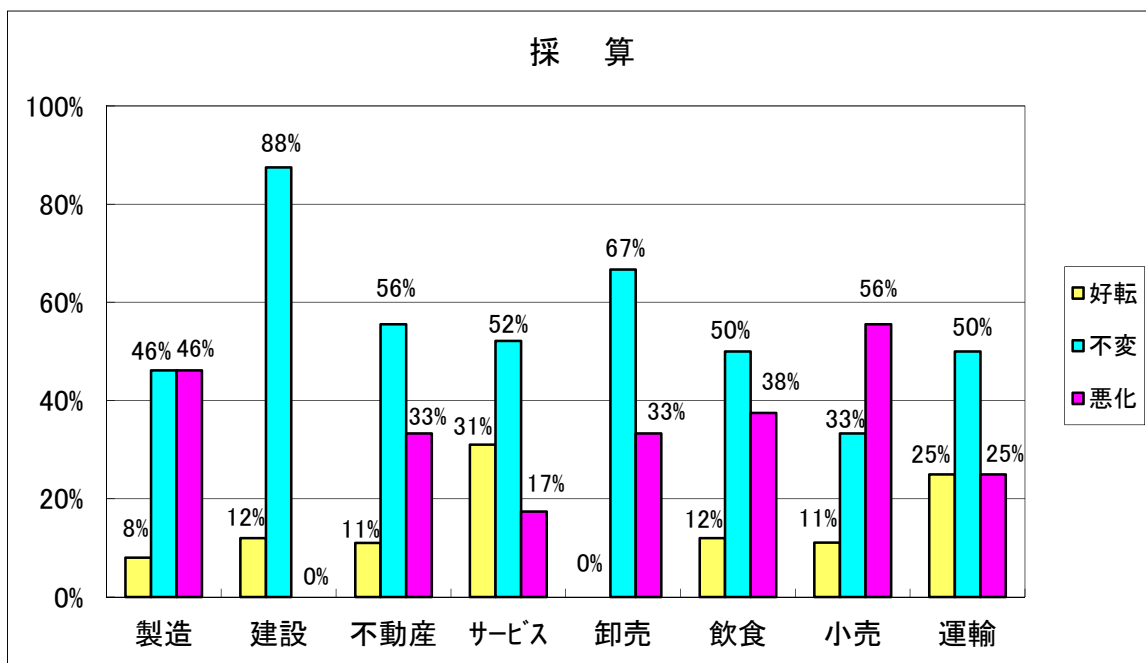
### ①売上について

全体的で見ると昨年より「増加」が30%（前回調査28%）、「不変」が30%（前回調査30%）、「減少」が40%（前回調査42%）と、4割の企業が減少し、低迷をしている。その中で、売上「増加」が顕著なのが卸売業（67%）、一方、「減少」が顕著なのが小売業（67%、前回調査62%）、飲食業（63%、前回調査56%）であった。



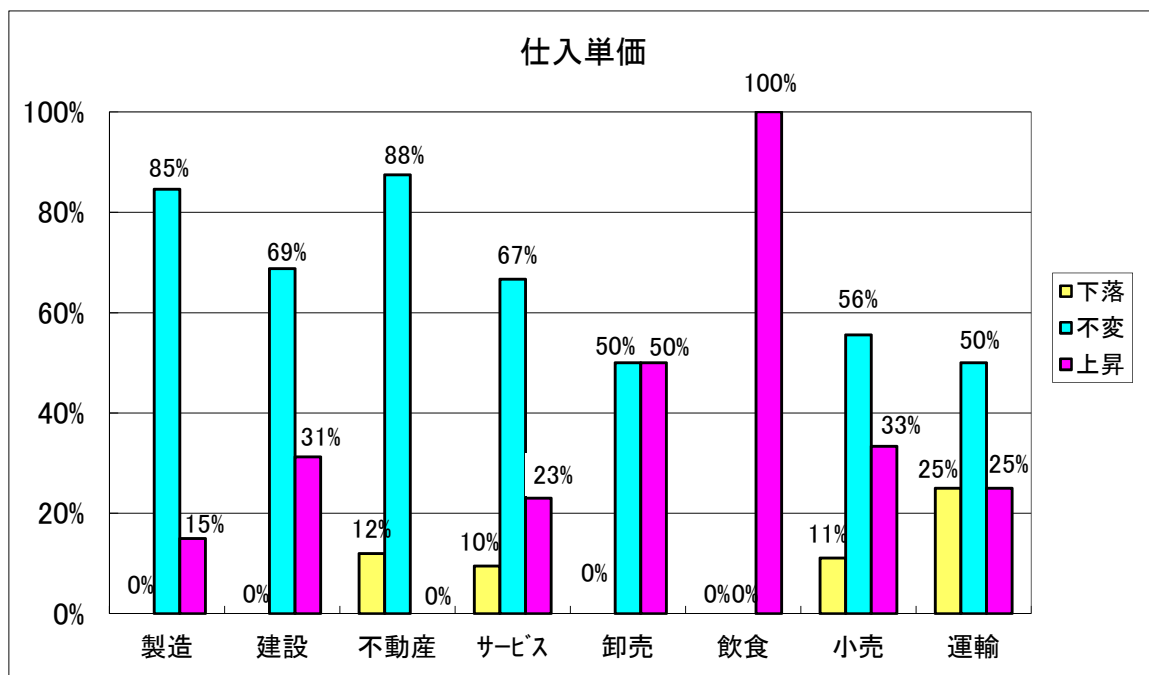
### ②採算について

全体で見ると、「好転」15%（前回19%）、「不変」55%（前回42%）、「悪化」30%（前回39%）であった。業種では小売業（56%）、製造業（46%）が特に「悪化」しており厳しい状況である。



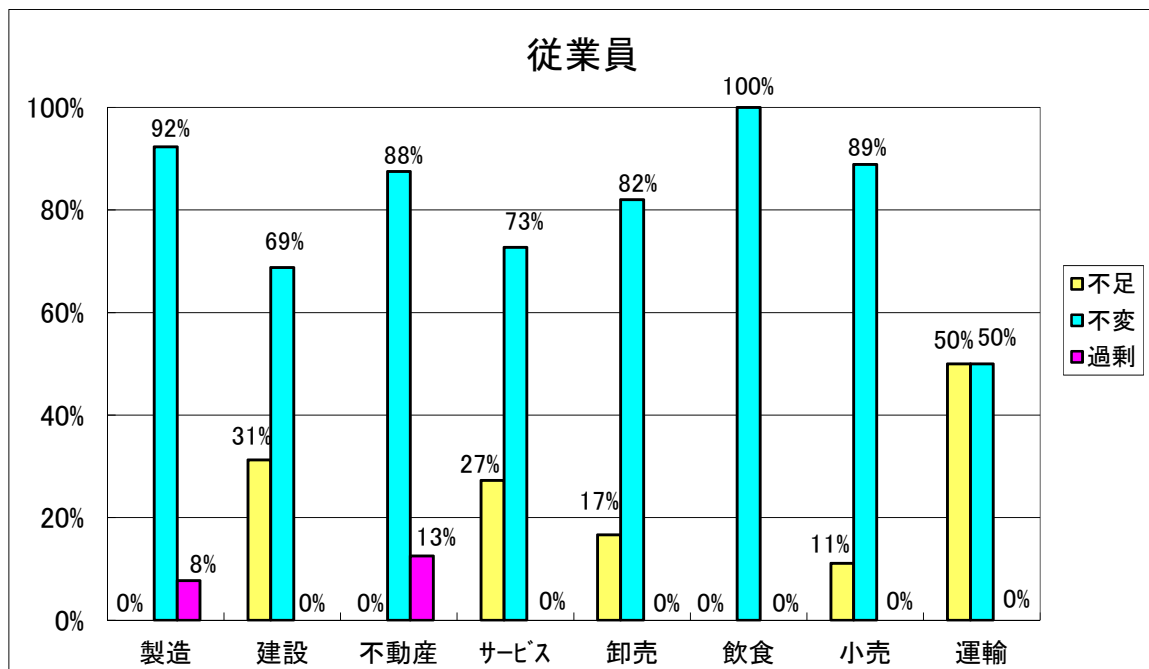
### ③仕入単価について

全体的には、「不変」(62%)がもっとも多かった。一方で「上昇」が顕著なのが、飲食業(100%)で全事業所で「上昇」と回答し、非常に厳しい状況がうかがえられる。天候不順による価格高騰が原因と考えられる。

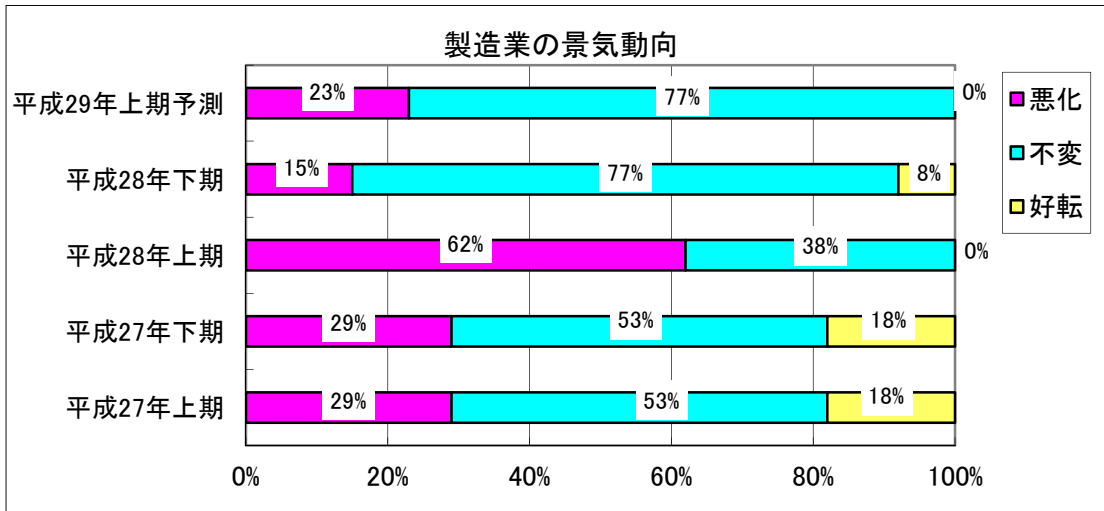


### ④従業員について

「不足」が顕著なのが、前回同様で運輸業(50%、前回調査50%) 建築業(31%、前回調査37%)で人手不足が深刻な状況である。

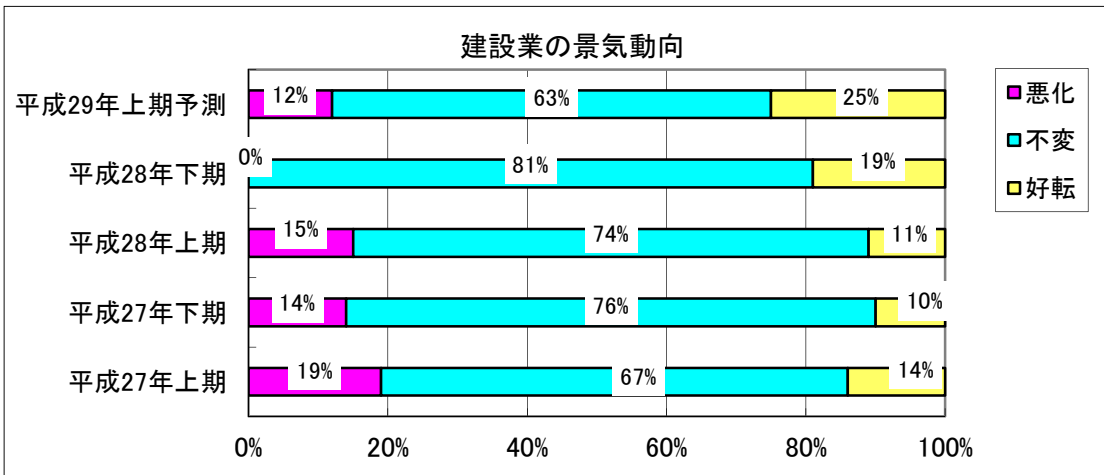


## ⑤業界の景気動向について



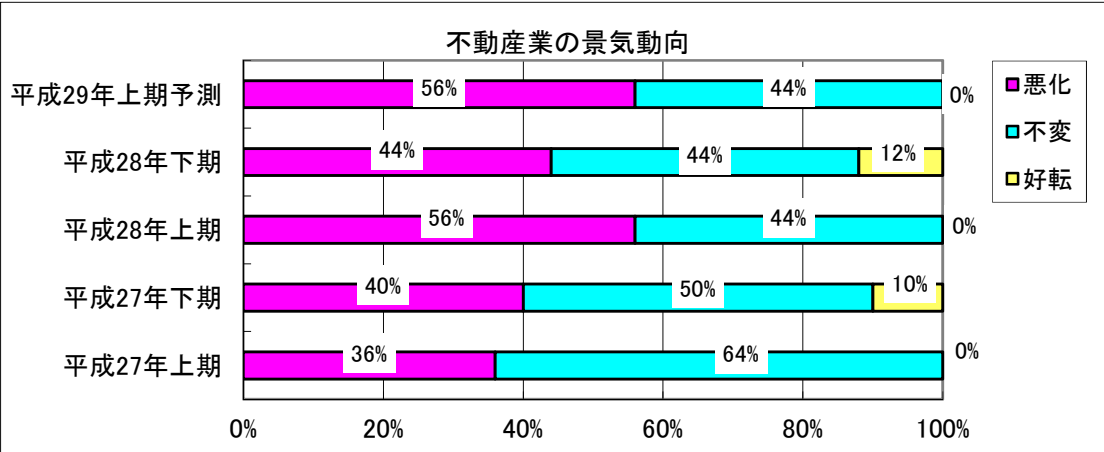
### ■製造業

平成28年下期では、「好転」が8%で「悪化」が15%と悪化傾向が強い。平成29年上期の見通しは「不変」が77%、「悪化」が23%で依然として厳しい見通しとなっている。



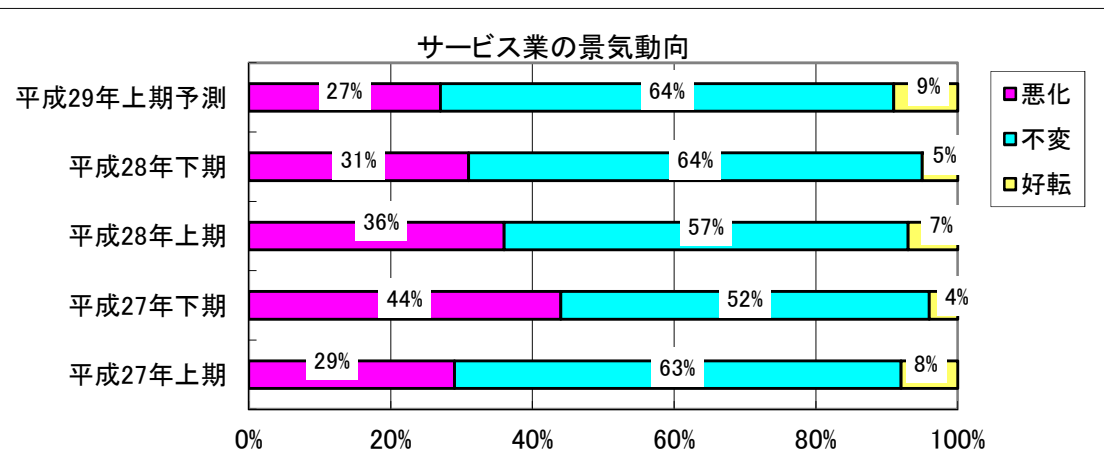
### ■建設業

平成28年下期は、「好転」が19%と前回調査よりも8ポイント増加し、「悪化」が0%と景気の好転がみられた。平成29年上期の見通しは「悪化」が12%ととあるものの「好転」が25%との見通しである。



### ■不動産業

平成28年下期は、「好転」が12%で、「悪化」が44%と前回調査よりも若干回復している模様。平成29年上期は、「悪化」が56%と半数以上の企業の見通しが厳しい。

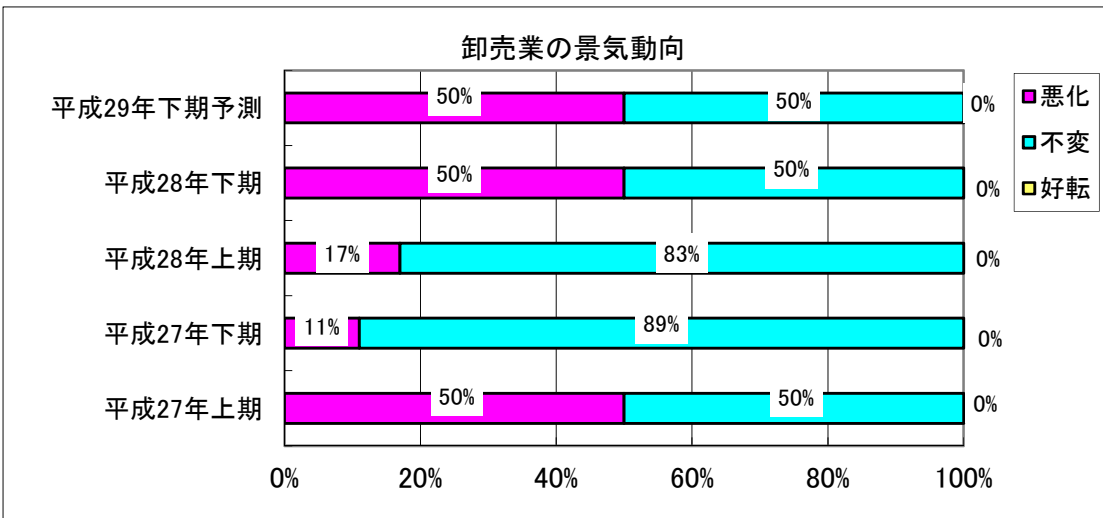


### ■サービス業

平成28年下期では前回よりも「悪化」が31%へと減少しているものの、「好転」も5%と若干減少している。平成29年上期の予測は「悪化」が減少しているが、「不変」との回答が多く、現状と見通しは変わらない。

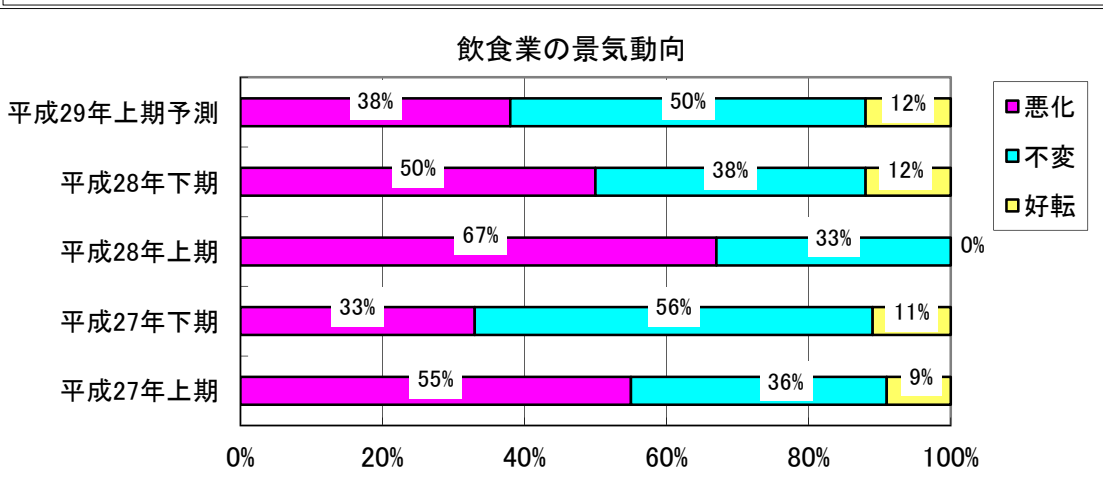
### ■卸売業

平成28年下期は「好転」がなく「不変」、「悪化」がそれぞれ50%であり、景気状況は厳しい。平成29年上期予測も、同じ状況で引き続き厳しい予測であった。



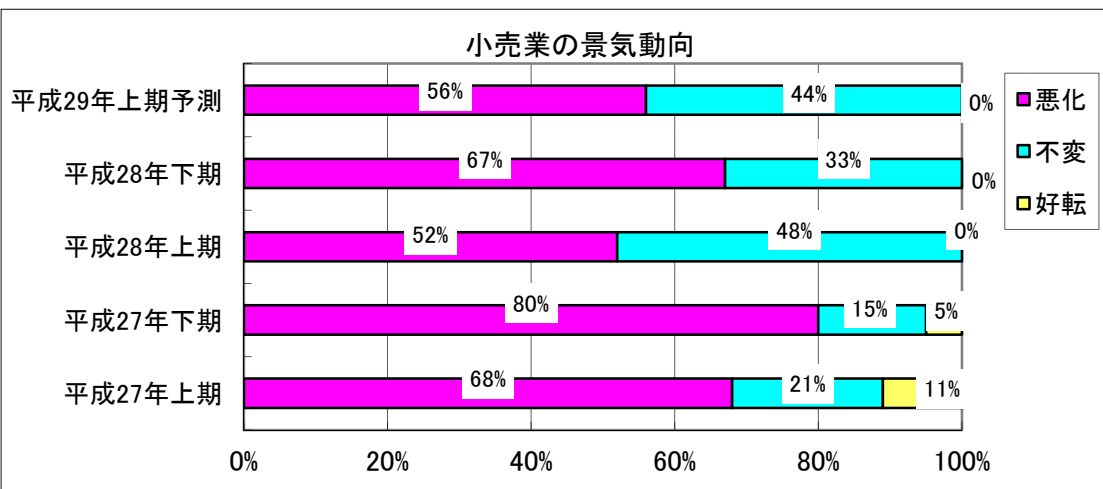
### ■飲食業

平成28年下期では「悪化」が50%と半数の企業が回答しているものの、「好転」が12%あった。平成29年上期予測は、「好転」が12%、「悪化」が38%と若干減少している。



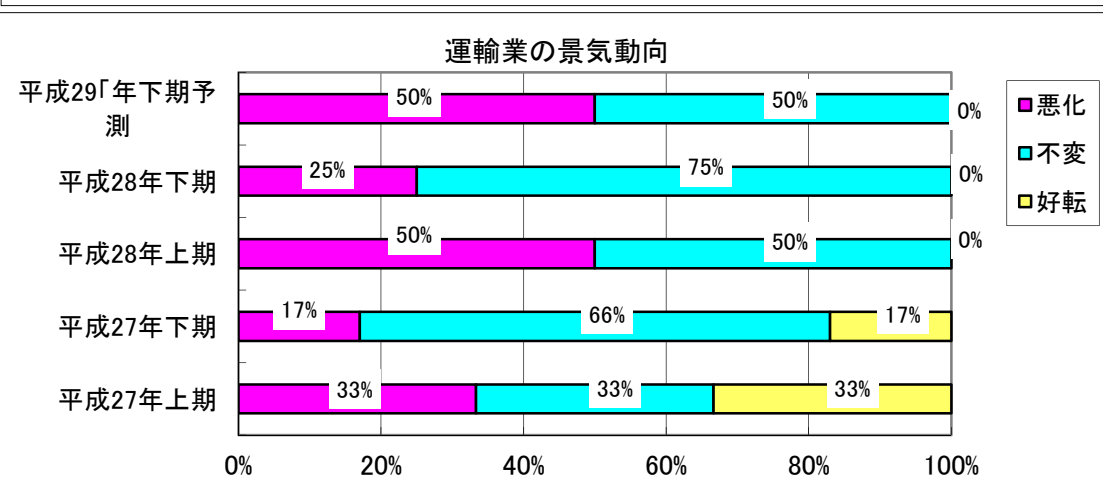
### ■小売業

平成28年下期は、「悪化」が67%とかなり厳しい状況がうかがえる。平成29年上期の見通しも「悪化」が56%と依然として厳しい見通しとなっている。



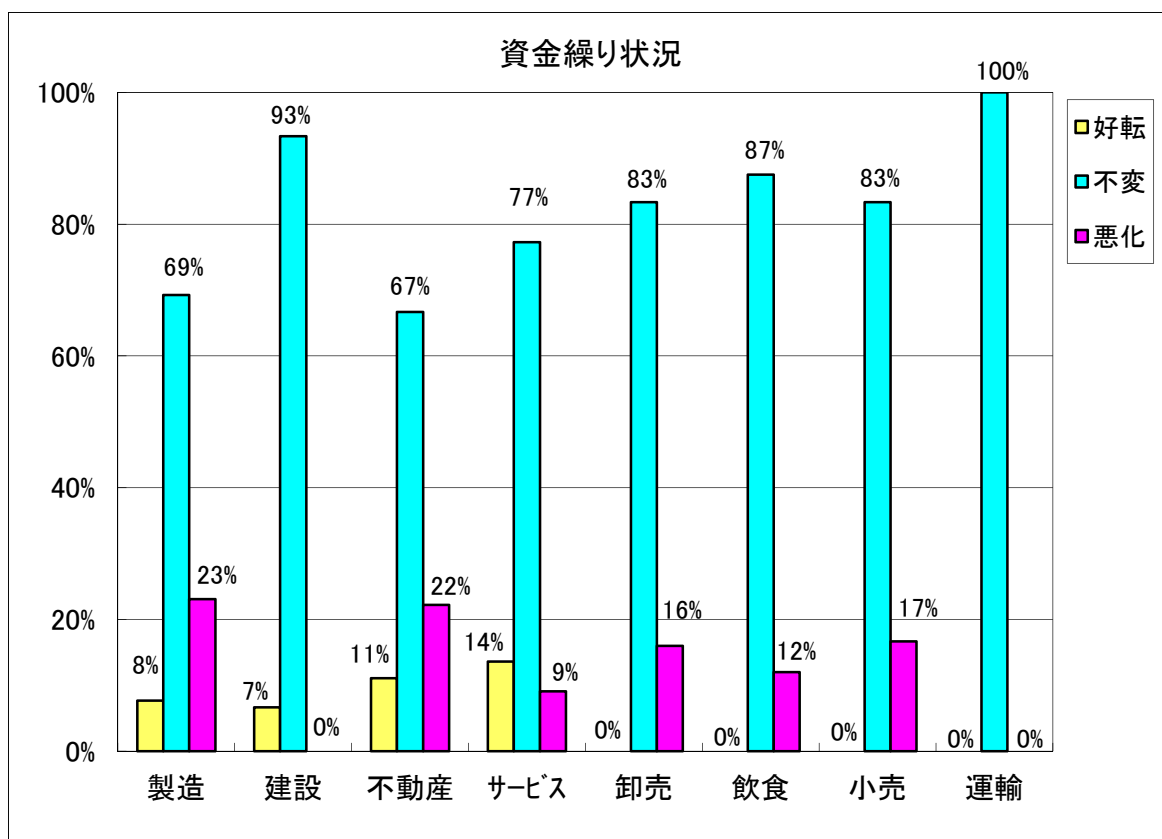
### ■運輸業

平成28年下期は、「好転」は見られず、「悪化」が25%と前回調査より減少している。平成29年上期の見通しでも、「悪化」は50%で厳しい状況が予測されている。



## ⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が81%（前回75%）、「悪化」が13%（前回18%）、「好転」が6%（前回7%）と回答している。前回調査とあまり変わらないが、業種で見ると「悪化」が多いのが製造業、不動産業であった。



## ⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が59%（前回44%）、「融資無し」が16%（前回31%）、「厳しい」が3%（前回8%）、「緩やか」が12%（前回17%）であった。融資状況については概ね変わりはない。

